

第一二卷

二港機密第一一號

十二月一日提出

軍極秘

第二港務部支那事變第十回功績概見表

第二港務部巨匠海軍大佐 大島良之助



区分	功績等級	期間	作戦行動事變關係業務等	成果	記事
第一港務部	勳功丙	自天六一 至天六九	臨戦準備ヲ整(對事變内地特機) 南支沿岸監視警戒及支那船舶 交通遮断水路並ニ沿岸據點ノ 確保等ニ從事セリ	支那方面艦隊司令官作戦指揮下ニ入りテ以テ來火船ヲ風濤ヲ冒シテ敵補給路遮断沿岸要地ニ急襲等ヲ發シ封鎖作戦ヲ實施シ甚大ナル戦果ヲ收メタリ	役務 天四一以後 第一艦隊 飛揚隊 第十部隊 天九一以後 第一艦隊 飛揚隊 第十部隊
同右	勳功乙	自天六三 至天六五	披山島掃蕩作戦ニ海上ニ在リテ陸戦隊場陸援護及海上監視警戒交通遮断ニ從事セリ	戰ヲ實施シ甚大ナル戦果ヲ收メタリ	第十部隊
同右	勳功乙	天七一	五環島、坎門鎮掃蕩作戦ニ海上ニ在リテ陸戦隊場陸援護及海上監視警戒通信連絡ニ從事セリ	尚南部隊印兵力進駐ニ際シテハ八號護衛艦隊司令官指揮下入り陸軍ト協力シテ	第六七一 八號護衛艦 隊司令官 隊三編入 一六八六 八號護衛艦
同右	勳功甲	自天七一 至天八六	二南部隊印進駐作戦ニハ護衛艦隊ヲ護衛シテ陸軍輸送船團ノ嚮道ヲ護衛揚陸掩護並ニ海上警戒ニ從事セリ	力進駐ニ際シテハ八號護衛艦隊司令官指揮下入り陸軍ト協力シテ	第六七一 八號護衛艦 隊司令官 隊三編入 一六八六 八號護衛艦

0096

所屬	同右	
勤務地	同右	
至	同右	
第三艦隊司令長官 高橋伊望	臨戦準備ヲ整ヘ對事變内地待機	二、ガムラン湾ガムリン兵舎西方約 五〇〇米海岸ニ長サ約一〇〇米幅 田米ノ棧橋ヲ構築セリ 三、水源兵要調査ヲ行フ
		武蔵ヲ發揚シ 作戦目的ヲ 達スセリ
		隊ヲ除ケル 六〇、一五 以後第三艦隊 隊員ヲ移シ 第七師團

0097

3

3

0098